

# 平成20年春季全国火災予防運動

## 全国統一防火標語『火は見てる あなたが離れる その時を』

=3月7日まで=

本年も、3月1日から7日間にわたり春季全国火災予防運動が実施されています。

この運動は、火災の発生しやすい時季を迎えるに当たり、防火防災意識を高めていただき、おける火災発生を防止し、火災による死傷者の発生や財産を防ぐことを目的に毎年実施されているものです。

平成18年中に発生した全火災件数は約53,000件で、その出火原因は「放火・放火の疑い」が最も多く、次いで「たばこ」「こんろ」「焚き火」の順となっています。

火災は皆さんのかけがえのない生命や財産を奪います。しかし、多くの火災は一人ひとりが気を配ることで防ぐことができるはずで、次に一般的な出火防止のための「火の用心 7つのポイント」を掲げますので、この機会に火災予防について振り返ってみてください。

### 火の用心 7つのポイント

- ①家のまわりに燃えやすいものを置かない。
- ②寝たばこやたばこの投げ捨てをしない。
- ③天ぷらを揚げるときは、その場を離れない。
- ④風邪の強いときは、焚き火をしない。
- ⑤子どもには、マッチやライター

- ⑥電気器具は正しく使い、たこ足配線はしない。
- ⑦ストーブには、燃えやすいものを近づけない。

### いざ！という時の初期消火

万一、火事になった時には慌てず適切な対応をとることが大切です。これを「初期消火」といいますが、この時に有効なのが消火器です。粉末の消火薬剤が入っており、消火器1本で十数秒間放射できます。この短い時間で確実に消火するには、消火器の正しい使い方を覚えて落ち着いて行動する必要があります。

### 消火器の基本操作は次の3つの動作で消火薬剤が放射できます



### 使う時のポイント

- ①燃え上がる炎や煙に惑わされず、放射距離を考えて安全な所まで火元に近づく。(約2〜3メートル)
- ②火元を良く確かめて噴射。天ぷら油火災の場合、消火器を放

射した時の勢いで高温の油等が自分に跳ね返ってきたりして危険ですので、鍋の高さと水平に消火器を構えて鍋の火を切るように消火器を放射させることが安全に消火するコツです。

③消火器の放射時間は意外と短いですが、慌てず、落ち着いて噴射。  
【例】粉末ABC消火器1.2kgで約15秒

④消火中に退路を断たれては大変。必ず逃げ道を確認してから消火してください。天井に火が回ったら、あきらめて素早く避難してください。

### 身近な危険「天ぷら油火災」

天ぷら油の加熱による火災は毎年の出火原因の上位となっています。天ぷらを揚げるための最適な温度は約180℃です。天ぷら油はそのまま火力を弱めずに加熱し続けると約360℃で油が燃え出します。

天ぷら油の温度が常温から約360℃になるまでの時間は、油の量や使用頻度、コンロの火力、室温、鍋の形状等により変わってきますが、おおよそ5分〜10分で油が燃え出します。ですから、ガスコンロには安全装置がついている部分もありますが、過信せず、火を扱っている時は必ずその場所を離れないようにしてください。

## 建物を壊すときは、届け出が必要

建設リサイクル法を知っていますか？  
建物を壊すときは、事前に知事に届け出が必要で知っていますか？  
建物を建てるときに、建築申請が必要ないように壊すときにも届け出が必要です。

届出をしないと、20万円以下の罰金に処せられます。

### 解体業者の方へ

#### 解体工事をする場合

- ①建物等に関する調査を実施し、周辺の状況、作業場所、搬出経路、残存物品の有無などを確認
  - ②分別解体等の計画作成し、調査結果の取りまとめ、工実行程、作業内容、分別解体等の方法、特定建設資材廃棄物の種類毎の発生見込み量および発生場所、その他分別解体等を適正に実施するための措置などを計画作成
  - ③工事着手前に講じる措置し、作業場所、搬出経路の確保等を図り、また、残存物品について、発注者が事前に搬出したか確認
  - ④工事の施工し、建築設備、内装材等を分別して取り外す、屋根ふき材の取り外し、外装材・上部構造部分の取り壊し、基礎および基礎杭の取り壊し
- 基礎杭の取り壊し**  
※解体工事の実施には、建設業許可か解体工事業登録が必要です。

解体工事の事前届出先は、徳島土木事務所建築指導担当(☎088・653・8819)まで。

建設リサイクル法に関するお問い合わせは、徳島県県土整備部建設管理課(☎088・621・2622)まで。

